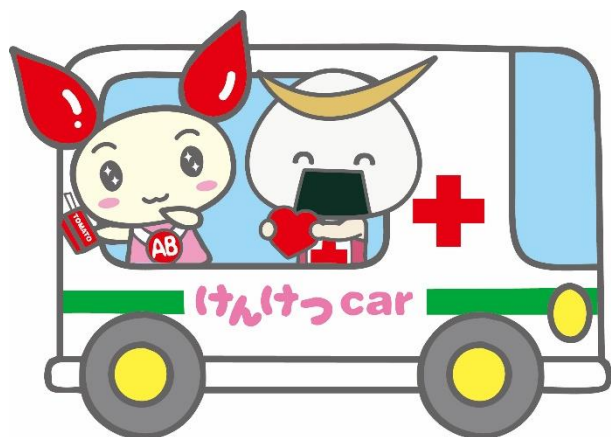


# 献血者確保に向けた取組

～献血に関するアンケート調査について(続報)～

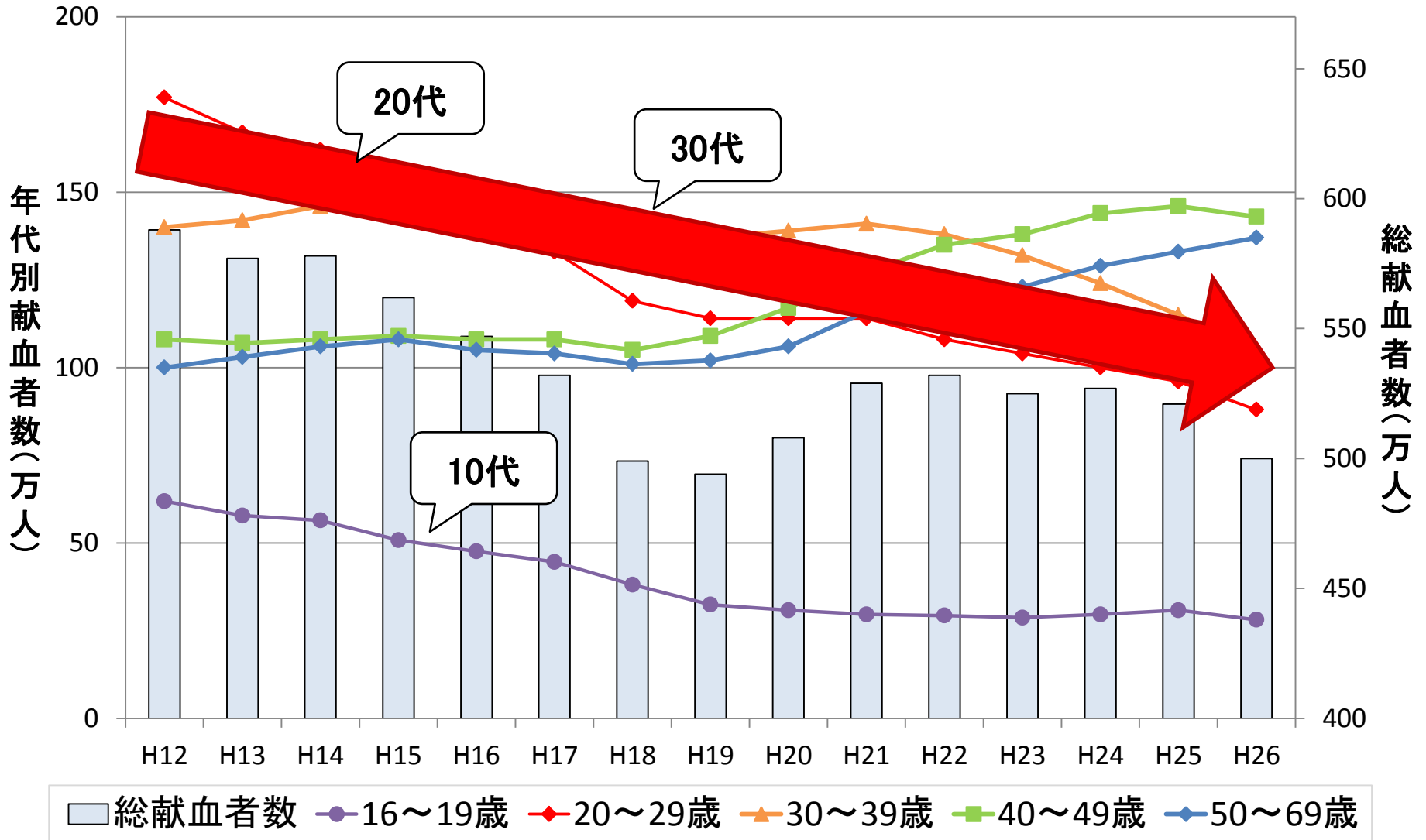


平成29年2月3日(金)  
薬事業務検討会

〈けんけつちゃんとコラボレーション〉

©宮城県・旭プロダクション

# 全国の献血者数



少子高齢化による献血可能年齢人口及び若年層  
献血者の減少により近い将来、献血者数が大幅に  
不足する恐れ

将来の血液安定供給の確保に向け、新たに献血の  
協力が得られる事業所の把握に努める

平成27年度に県内企業対象にアンケートを実施

# 調査結果

## ＜集計結果＞

回答		現在の受入	今後の献血バスの受入	
アンケート送付 251	あり 170	あり 82	継続可能 79	回数増…可能 34
			不明 3	回数増…不可 45
	なし 88			
なし 81				受入可能 31
				受入不可 54
				無回答 3

※ 数字は事業所数

今後新たに献血バス受入可能と回答した31  
事業所を訪問し、直接協力を依頼する



事業所訪問へ

# 方 法

---

## 事業所訪問

保健所職員



訪問理由及び献血の  
現状について説明

宮城県赤十字血液  
センター職員



献血バス受入の流れ  
について説明

市町村職員



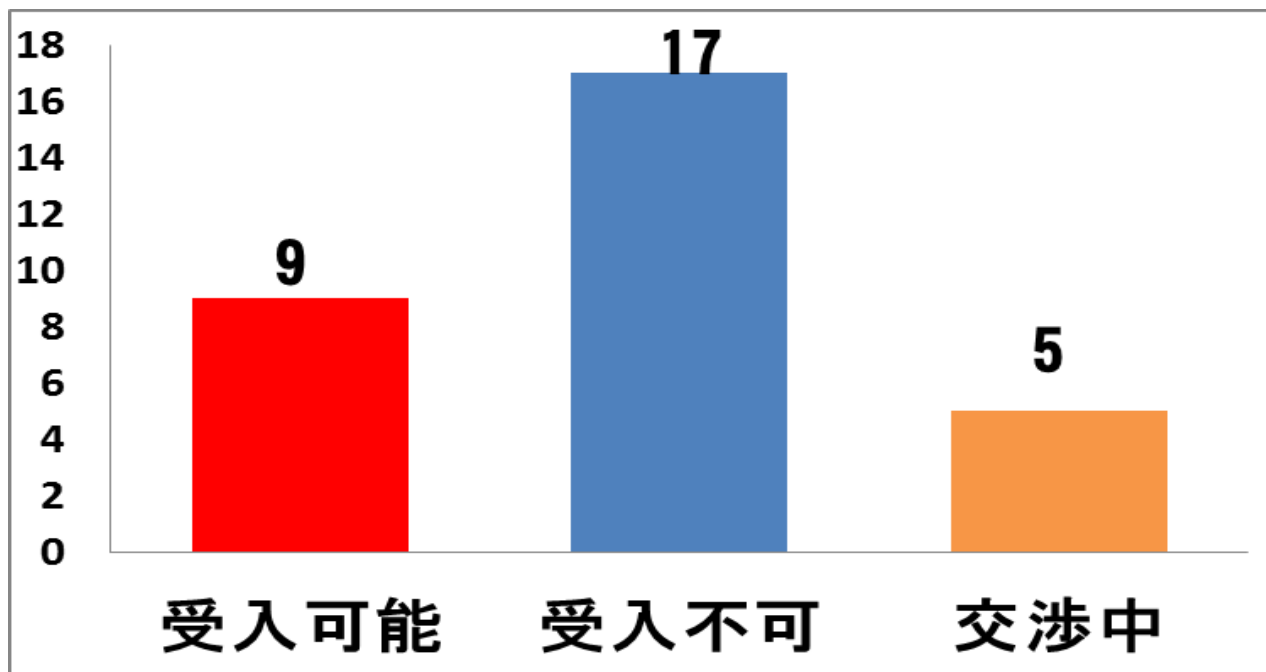
管内の献血バス運行  
状況の説明

結

果

## 事業所訪問

献血バス受入 <b>可能</b> 事業所	9件
献血バス受入不可事業所	17件
献血バス受入交渉中事業所	5件



結

果

## 事業所訪問

新たに献血協力事業所 9件開拓



平成28年度	献血実施済	4件(67名)
	献血実施予定	5件(約80名予定)

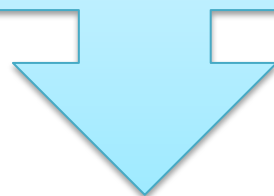
献血者数約100名以上(67名は確定)の確保



## 取組 ②

---

献血バス受入が円滑に実施できている事業所を訪問し、その原因や理由を見つけ出し、献血の協力を求める上で参考となる情報を得る



モデル企業訪問へ

方

法

## モデル企業訪問

### (株)仙台ニコン を選定

- ・所在地: 名取市田高原277
- ・業種: カメラ製品製造業
- ・従業員数: 1,112人(男性850人、女性262人)
- ・実績: 昭和51年から約40年間献血バス受入  
1台あたり採血者45名/日以上常に確保

名取市、宮城県赤十字血液センター及び塩釜保健所岩沼支所の3者で訪問

結

果

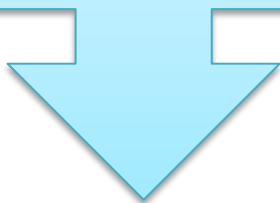
## モデル企業訪問

### 得られた情報

- ① 企業内担当者が従業員へ積極的に呼びかけをしている
- ② 事前に献血者を把握し待ち時間が生じないように順番を決めている(リスト作成)
- ③ 献血バス配車を年間行事に組み込んでいる(リピーターが多い)
- ④ 無料の血液検査を献血の利点と捉えている

取組 ③

献血協力事業所でもある保健福祉事務所において献血者数増加に向けて取り組む



平成27年度に目標に達しなかった職員100名以下の仙台保健福祉事務所（塩釜保健所）

目標 10人/時間

# 方 法

## 保健福祉事務所における取組

モデル企業訪問により得られた情報を  
仙台保健福祉事務所(塩釜保健所)で実践

企業内担当者が従業員へ  
積極的な呼びかけをしている



- ・1ヶ月前及び前日にメールで周知
- ・隔週開催の班長会議にて周知

事前に献血者を把握し、待ち時間が生じないように順番を決めている(リスト作成)



職員一人一人へ直接依頼(協力人数の把握及びリスト作成)

結

果

## 保健福祉事務所における取組

献血実施場所：仙台保健福祉事務所（塩釜保健所）

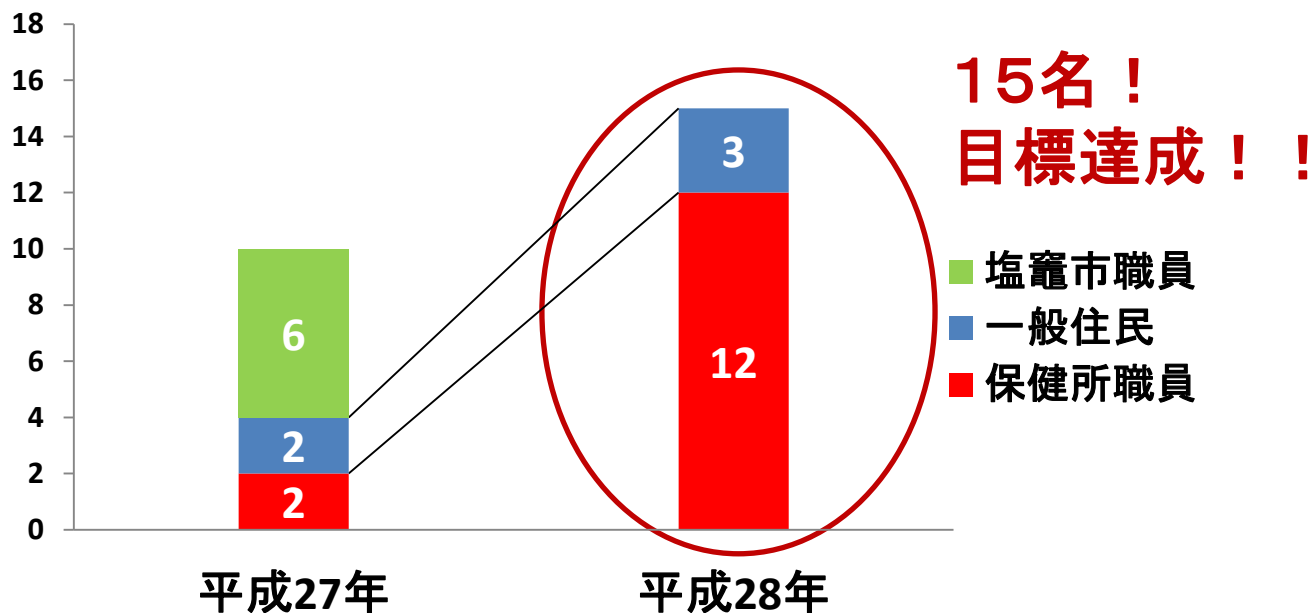
献血実施日：平成28年11月11日（金）午前10時～午前11時半

H27

採血者**10**名（保健所職員 **2**名，一般住民**2**名，塩竈市職員**6**名）

H28

採血者**15**名（保健所職員**12**名，一般住民**3**名）



# まとめ

## ①事業所訪問

新たに献血協力事業所を9件開拓  
約100名以上の献血者数増加へ寄与



潜在的な事業所を掘り起こし、確約  
に結びつけたことは将来の血液安  
定供給へつながる





今回限りの受入とならないように、  
継続して受入してもらえよう働き  
かけが必要

# まとめ

## ①事業所訪問

協力の確約が出来なかった事業所が17件あった

- 
- ・時間帯や人数等条件合わず
  - ・事業所と血液センター側との意図の違い

- 
- ・事業所近辺の献血バス配車を利用
  - ・街頭献血を利用
  - ・仙台市にある献血ルームを紹介



# まとめ

## ②モデル企業訪問

呼びかけ、協力者リストの作成

献血バス配車を年間行事に組み込む

献血の利点(無料の血液検査)訴える

有効

平成27年度アンケート調査結果  
献血バスの受入理由  
「社会貢献のため」が最多

献血協力はCSR(企業の社会的責任)  
活動のアピールにつながる  
→利点として取り上げる

## ③保健福祉事務所における取組

### ・献血者数

- ・前年度と比較して採血者10名から15名と増加した
- ・保健所職員は、採血者2名から12名と大幅に増加した

前年度はポスター及び実施前日のメールのみだったが、今年度は周知回数を増やしたこと及び直接依頼するなど周知啓発を効率的に行うことにより献血協力者数増加につながった

# まとめ

---

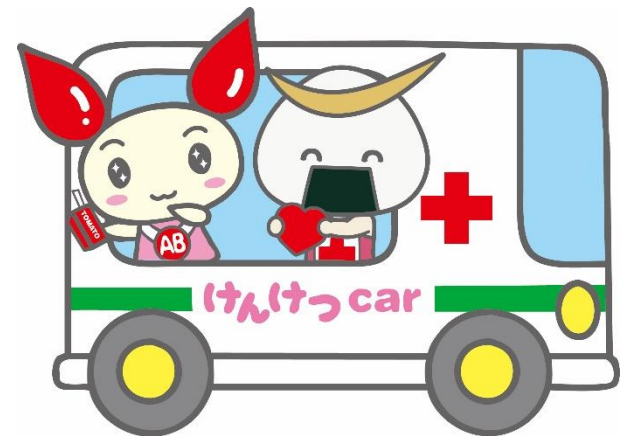
平成27年度 アンケート調査

平成28年度 事業所訪問等の取組



献血協力者の増加及び血液安定供給へ

ご静聴ありがとうございました



〈けんけつちゃんとコラボレーション〉

©宮城県・旭プロダクション